

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 4 日作成)

小委員会名	建築情報教育小委員会	主 査 名：下川雄一 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：新宮清志
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>設置目的 IT はすでに身近な設計ツール・環境として一般化したとの立場から、実務的・実践的な建築情報教育のあり方や問題の掘り起こしを進める。これにより、情報技術分野という特定領域の問題から建築教育全般の問題へと建築情報教育を拡大することをねらいとする。主な活動として、建築情報教育のあり方の提言、教育に関連した技術情報の提供、IT を利用した教育支援システムとカリキュラムの構築を目指す。</p> <p>2005 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年 3 回程度の小委員会開催 (5 月、大会時、3 月を予定)</li> <li>● 先端的教育事例および技術事例の収集・調査 (2WG と協力)</li> <li>● 建築教育の情報化に関するアンケート調査(教育現場調査WG と協力、隔年度)</li> <li>● 建築情報教育関連のPD を開催 (12 月、主に教育現場調査WG と協力)</li> </ul> <p>2006 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年 3 回程度の小委員会開催 (5 月、大会時、3 月を予定)</li> <li>● 先端的教育事例および技術事例の収集・調査 (2WG と協力)</li> <li>● 建築情報教育関連のPD を開催 (12 月、主に教育現場調査WG と協力)</li> <li>● 小委員会活動の中間とりまとめ</li> </ul> <p>2007 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年 3 回程度の小委員会開催 (5 月、大会時、3 月を予定)</li> <li>● 建築教育の情報化に関するアンケート調査 (隔年度)</li> <li>● 建築情報教育関連のPD を開催 (12 月、主に e ラーニング研究WG と協力)</li> </ul> <p>2008 年度活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年 3 回程度の小委員会開催 (5 月、大会時、3 月を予定)</li> <li>● 建築情報教育関連のPD を開催 (12 月、主に e ラーニング研究WG と協力)</li> <li>● 小委員会活動のとりまとめ</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有り</p> <p>下川 雄一 (金沢工業大学)(主査) 小松 喜一郎 (立命館大学)(幹事) 本間 里見 (熊本大学)(幹事) 衣袋 洋一 (芝浦工業大学) 加賀有津子 (大阪大学大学院) 笠原 信一 (東京都立大学) 川角 典弘 (和歌山大学) 木村 謙 (エーアンドエー株式会社) 笹田 森 (株式会社内田洋行) 前 稔文 (大分工業高等専門学校) 松永 直美 (レモン画翠) 両角 光男 (熊本大学) 松島 史朗 (豊橋技術科学大学)</p>	

設置 WG (WG名:目的)	教育現場調査 WG: 建築情報教育の事例データベースの構築を狙いとし、アンケート調査、技術見学による設計教育の実情調査と実務・教育双方の問題掘り起こしと建築情報教育のニーズ調査を行う。  e-ラーニング研究 WG: e-Learning & Web 教育のコンテンツ構築、カリキュラム等の提供を狙いとし、先進事例の調査を行いながら、Web ベースの協調設計教育のスタイル確立と実践を目指す。	
2005 年度予算	270,000 円	ホームページ公開の有無: 有り 委員会 HP アドレス: <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M020/">http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M020/</a>

項 目	自己評価	
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)		
講習会		
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 次世代を育てる建築教育と情報技術その 1 - 教育界及び建設業界からの現状報告と問題定義 - 参加者数 約 30 名 (資料は上記と同タイトルの 1 2 ページのもの有り)	
大会研究集会		
対外的意見表明・パブリックコメント等		
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>上述した 2005 年度の活動計画の項目毎に、得られた成果と状況について示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年 3 回程度の小委員会開催 年 3 回の小委員会を開催し、委員のコンセンサスを得るよう努めた。</li> <li>2. 先端的教育事例および技術事例の収集・調査 eラーニング研究WG委員を中心に、eラーニングに関する先進事例の見学会・研究会を 2 回 (3 事例) に渡り、実施した。</li> <li>3. 建築教育の情報化に関するアンケート調査 教育現場調査WG委員を中心にアンケート票の作成を行ったが、内容を煮詰めきれず、次年度の活動へ回すこととなった。</li> <li>4. 建築情報教育関連の P D を開催 第 28 回情報・システム・利用・技術シンポジウムの研究集会として、上記「催し物」の欄に記載した研究集会を実施し、建築教育と情報技術関わりについて知見を得た。</li> </ol>	
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築教育の情報化に関するアンケート調査の遅れ</li> <li>2. 最終的に小委員会活動で到達すべき目標イメージの共有化がまだ十分になされていない</li> <li>3. 情報シンポジウム研究集会における他小委員会との合同開催について、2005 年度に討議したが、合意は得られなかった。</li> </ol>	
その他		